

## 枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和3年6月23日（水） 午後7時30分～午後8時30分
2. 場 所 市役所本館 塔屋会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名  
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「予算・人員要求書」に基づく交渉（2回目）

### <交渉内容要旨>

#### I. 次年度の職員採用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の第1回目の交渉を踏まえ、今交渉で示せるものはあるか。</li> <li>・ 図書館司書の採用はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採用試験については、7月中旬に一次試験を実施し、採用規模については、45人程度と考えている。障害者雇用率 3.0%を安定的に上回ることができるよう障害者枠を設ける。技術職は、土木職を中心に大学卒、資格・経験枠の区分を設けたい。免許を有する専門職は、保育士のほか保健師、臨床心理士、管理栄養士といった職種を予定している。現業職は、職のあり方や各職場における見直しの取り組みを踏まえると、大変厳しい状況だが、これまでの経過を踏まえて、最後まで検討を重ねたい。</li> <li>・ 司書資格を有する職員の年齢構成に課題があると認識している。今年度もどのような工夫ができるのか最後まで検討したい。</li> </ul>

#### II. 人員体制・配置について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の定年退職辞め切りや更新限度を迎える再任用職員の予定者数を聞く。</li> <li>・ 定年前早期退職等も考慮すると45名の採用では全く足りない。正職員の人数は25年前から約3割減っているが、正職員が担うべき恒常的業務は3割減っていない。調理員や司書の状況も考慮し、大幅な採用増加が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の定年退職者52名のうち辞めきりの人数は約1割を見込んでいる。また、再任用の更新限度を迎える職員は40名程度である。</li> <li>・ 採用人数は各職場とのヒアリング及び行財政改革プランによる委託等も考慮して45名とした。</li> </ul>

### Ⅲ. 通年採用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 今年度の退職状況に応じて柔軟に対応できるよう、試験合格者を名簿に掲載するなど、通年採用できるようにしてほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 補欠合格者として1年間確保できるメリットはあるものの、当該本人にとっては長期にわたり不安定な立場になる懸念がある。</li></ul>